

平成27年度南小倉中学校区 小中一貫教育モデル事業

1. 趣 旨

本市の小中一貫・連携教育の更なる推進を図るとともに、小中一貫教育の制度化に向けた国の動向も踏まえ、小中学校のより円滑な接続を図るため、4-3-2の学年区分による9年間を通じた連続性・系統性のある教育活動の実践を行い、取組内容とその成果と課題を明確にし、本市の小中一貫教育の今後の方向を探る。

2. 研究・実践内容

- (1) 社会の形成者として、主体的・自立的に生きる基盤を養い、他の人と共生できる豊かな社会性を身に付けた人を育成するための生活力の向上を目指した9年間を見通したカリキュラム（豊かな人間関係の構築、自尊感情・正しい人権感覚の醸成、基本的生活習慣の定着、規範意識の向上を目指した指導内容）の小中、小小でカリキュラムを連携して作成、実践し、小中一貫教育の在り方を研究する。
- (2) 北九州スタンダードカリキュラムを基に、9年間の系統性を明確にし、小中一貫カリキュラムの検討・編成を行う。
- (3) 学ぶ意欲の向上、基礎的・基本的な学力の定着を目指し、小学校高学年での専科実践（一部教科担任制の実施）、中学校教員による小学校への乗り入れ授業の実践を進める。
- (4) 小中間で一貫性をもった授業を構築し、学習規律を高め、地域・家庭と連携して家庭学習の充実を図る。
- (5) 小中間で共通した学校生活のルールづくりを進め、学校いじめ基本方針を統一し（h28年度）、いじめ、不登校対策についても共通認識を持ち共働・実践していく。
- (6) 小中間で一貫性をもった特別支援教育を推進するために、個別的教育支援計画等の活用、保護者や関係機関との連携についての方向性を探る。
- (7) 小中で一貫した「学校教育目標」を設定し、小中一貫教育についての学校評価を検討する。
- (8) 小中一貫教育の推進に向けて「小中一貫教育推進委員会」を発足し情報交換を行うとともに、小中で校務分掌に「小中一貫教育専門部会」を設置して実践を行う。
- (9) 小中で児童生徒アンケート項目の共有を図り、成果を検証する。
- (10) 全国学力・学習状況調査、北九州市独自の学力テストを活用し、児童生徒の基礎学力定着の状況を検証する。

3. 実施体制

